

Finding better ways to provide the materials the world needs

世界が求める素材を、よりよい形で

リオティントとは

リオティントは、英国とオーストラリアに上場する二元上場企業であり、鉱業と鉱物資源の加工を主たる事業としています。

世界三大鉱物資源メジャーの一角として、低炭素社会の移行に不可欠な鉄鉱石、アルミニウム、銅、チタニウム、リチウムおよびクリティカルミネラルズなどの鉱物資源や素材を生産しています。

また、これらの原料や素材を輸送するドライバルク船（ばら積み船）の世界最大級の荷主としても知られています。

Focus

注力分野/気候変動への対応



鉄鉱石

- 低炭素製鉄の研究開発推進
- 高品位鉄鉱石生産拡大
- 鉱山重機の電動化



アルミニウム

- 温室効果ガスを直接排出しないアルミ製錬技術
- オーストラリア製錬事業における再生可能エネルギー電力への移行
- リサイクル事業の強化



銅

- モンゴル銅鉱山の増産を推進
- 米国の銅事業における重機の燃料を再生可能ディーゼルに完全移行



リチウム & ミネラルズ

- リチウム生産拡大に向けたプロジェクトを推進
- 生産過程で発生する廃棄物からスカンジウム・テルリウムなどの重要鉱物を生産

Products

リオティントは人類の発展に欠かせない原料や素材を提供しています。

鉄鉱石 世界最大の生産者(1)
日本向けシェア 1 位

アルミニウム 西側最大の生産者(2)
低炭素アルミ技術で業界をリード

銅 世界トップクラスのアセット

リチウム 世界最大級の資源を持つ主要生産者

ミネラルズ 酸化チタン・ホウ酸・工業塩・クリティカルミネラルなど

(1) 2024年実績

(2) 中国、ロシアを除く

従業員数

約**60,000**人

操業国

35ヶ国

2024年純利益

109億ドル

リオティントの製品



鉄鉱石

リオティントは世界最大級の鉄鉱石生産者であり、日本向けでは最大の供給者です。主な生産拠点は西オーストラリア州ピルバラ地区にあります。高品位鉄鉱石ペレットをカナダで、また近い将来ギニアからも高品位鉄鉱石の出荷が見込まれています。ピルバラ地区およびカナダの事業には日本企業も参画しています。



アルミニウム

リオティントは日本向け最大のアルミニウム供給者の一つであり、再生可能エネルギーを用いて製錬をするニュージーランド・アルミニウム製錬所（NZAS）やオーストラリアの製錬所から主に製品を供給しています。さらに、カナダでも水力発電を利用した大規模な低炭素アルミニウムの生産拠点を有しています。



銅

リオティントは、世界最大の銅鉱山であるチリのエスコンディダ鉱山や、西オーストラリアのウィヌ銅プロジェクトにおいて、日本企業をパートナーとして事業を展開しています。また、モンゴルのオユトルゴイ銅・金鉱山は、2023年3月に地下坑内掘りによる生産を開始し、世界有数の銅・金鉱山の一つとなりました。



リチウム

リオティントは、2025年3月にアルカディウム・リチウム社を完全子会社化し、既存のアルゼンチンにおけるリンコン・プロジェクトと統合するかたちで「リオティント・リチウム」を発足させました。この新体制のもと、成長を続けるリチウム市場において生産能力を加速度的に拡大し、強かな付加価値を創出するとともに、世界クラスのリチウム事業の構築を目指しています。



産業用鉱産物(ミネラルズ)

カナダやアフリカで生産される**酸化チタン原料**は、1960年代より日本向けに供給されています。**ホウ素**は、カリフォルニア州のボロン地域で展開する世界最大級のホウ酸塩鉱脈から採掘されており、世界需要の約30%を担っています。また西オーストラリア州に拠点を置く**ダンピア・ソルト・リミテッド（DSL）**では日本企業との協業のもと、2つの天日塩事業を展開し、主に化学産業向けに**工業塩**を供給しています。



重要鉱物(クリティカル・ミネラル)

カナダにあるリオティント・アイアン・アンド・チタニウム（RTIT）のケベック・オペレーションでは、酸化チタンの製造過程で発生する廃棄物から、固体酸化物形燃料電池やアルミニウム合金などに使用される高純度の**酸化スカンジウム**の生産に成功しました。また、アメリカ・ユタ州にある当社の銅鉱山では、先進的な薄膜型太陽電池パネルなどに使用される**テルリウム**の生産を開始しています。

リオティントと日本

日本は、リオティントにとって極めて重要な取引先かつ長期にわたる信頼あるパートナーです。また、日本にとっても、当社は最大手の原料サプライヤーの1社であり、鉄鉱石においては最大のサプライヤーです。当社が誇る西オーストラリア州の世界最高水準の鉄鉱石事業は、日本の製鉄各社が最初の顧客となり、多大なるご支援をいただいたことにより開発することができました。1966年に西オーストラリア州から日本に向けて鉄鉱石を初出荷し、2021年12月には累積出荷量が20億トンに達しました。20億トンの鉄鉱石からは約12億トンの鉄を生み出すことができます。これは、東京スカイツリーの3万本分、あるいはシドニーハーバーブリッジの約2万3千基分の鉄に相当する量です。

日本との長い歴史

リオティントが日本への資源供給を開始したのは1920年代で、ホウ酸製品の出荷がその始まりでした。1930年代にはアルミニウム、1960年にチタン slags の供給が開始され、1961年にはコマルコ（現リオティント アルミニウム部門）が、オーストラリアから日本へ向けてボーキサイトのトライアル出荷を初めて実施しました。その後、1960年代に西オーストラリア州ピルバラ地区で鉄鉱石鉱山の開発を開始するにあたり、日本の製鉄各社が長期購入契約を締結したことが、鉱山開発の大きな後押しとなりました。この契約は、当時、オーストラリア史上最大の売買契約として注目を集めました。今日では低炭素社会実現を目指し、環境省が設立した「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム 脱炭素経営促進ネットワーク」（GVCネットワーク）への参加をはじめ、日本の製鉄会社、サプライヤー、商社とパートナーシップを通じて、脱炭素に向けた多角的な取り組みを進めています。

このように、日本とリオティントは、約100年にわたり多面的かつ強固なパートナーシップを築き上げてきました。私たちのビジネスは、日本企業との深い信頼関係と安定した協力体制をなくして語ることはできません。



西豪州ダンピア港で「邦雲丸」に最初の日本向け鉄鉱石の荷積み（1966年）

重要な取引先、日本

高度経済成長期の真っただ中、1966年にリオティントの日本法人が誕生しました。その後、日本経済の発展とともに着実に日本との取引を拡大してきました。現在では、金属・鉱物資源における日本最大のサプライヤーの一社として200社を超える日本企業に対し、鉄鉱石、アルミニウム、銅、リチウム、モリブデン、産業用鉱産物（ホウ酸、酸化チタン、工業塩など）、およびダイヤモンドを供給しています。顧客企業は、製鉄会社、非鉄金属メーカー、商社、化学品メーカーなど、多岐にわたります。

バリューチェーンにおける日本企業

日本企業は鉱山機器、資機材や物資のサプライヤーとして、リオティントのグローバルなバリューチェーンにおいて欠かせない存在です。世界各地の鉱山から市場に至るまで、日本製の製品や技術が日々活躍しています。たとえば、リオティントの鉱山では、コマツ、日立建機、ブリヂストン、トヨタ自動車、IHIなどの日本製品が広く使用されています。コマツとのパートナーシップにより開発された大型ダンプトラックの自動無人運行システムはその代表例です。また、西オーストラリア州ピルバラ地区における当社の鉄鉱石出荷専用鉄道網、総延長約2,000キロには、日立レールSTSが構築した鉄道自動運行システム「AutoHaul™」が導入されています。また、日本製鉄とJFEスチールもこの鉄道網のレールを供給しています。



ボーキサイトからアルミナ、そしてアルミニウムを精製・製錬する工程では、日本企業の物資・資材が使用されています。海上輸送においても、日本の造船所で建造された船がリオティントの輸送船団の一部をなし、また、邦船三社をはじめとする船会社が所有、または運行するばら積み船で海上輸送を行っています。



未来に向けて

ビジネス関係とともに、リオティントは日本のパートナーと共同で、日本の将来のリーダーの育成とダイバーシティ社会の実現を支援しています。

リオティントは、日豪両国関係の発展に寄与する活動を支援するために設立された**日豪イノベーション基金（AJIF）**をサポートしています。2018年にAJIFの前身となる「リオティント日豪共同研究助成金プログラム」を設立し、日本と豪州の関係強化と発展に寄与するための科学、技術、イノベーションの分野における12の共同リサーチの助成をしました。AJIFは今後、資源業界に関連する科学やテクノロジー分野の両国の研究支援に焦点を当て、脱炭素社会の実現に必要なイノベーションの創出をサポートします。リオティントは、2026年までに今までの実績と合わせて総額500万豪ドルの支援を実施する予定です。

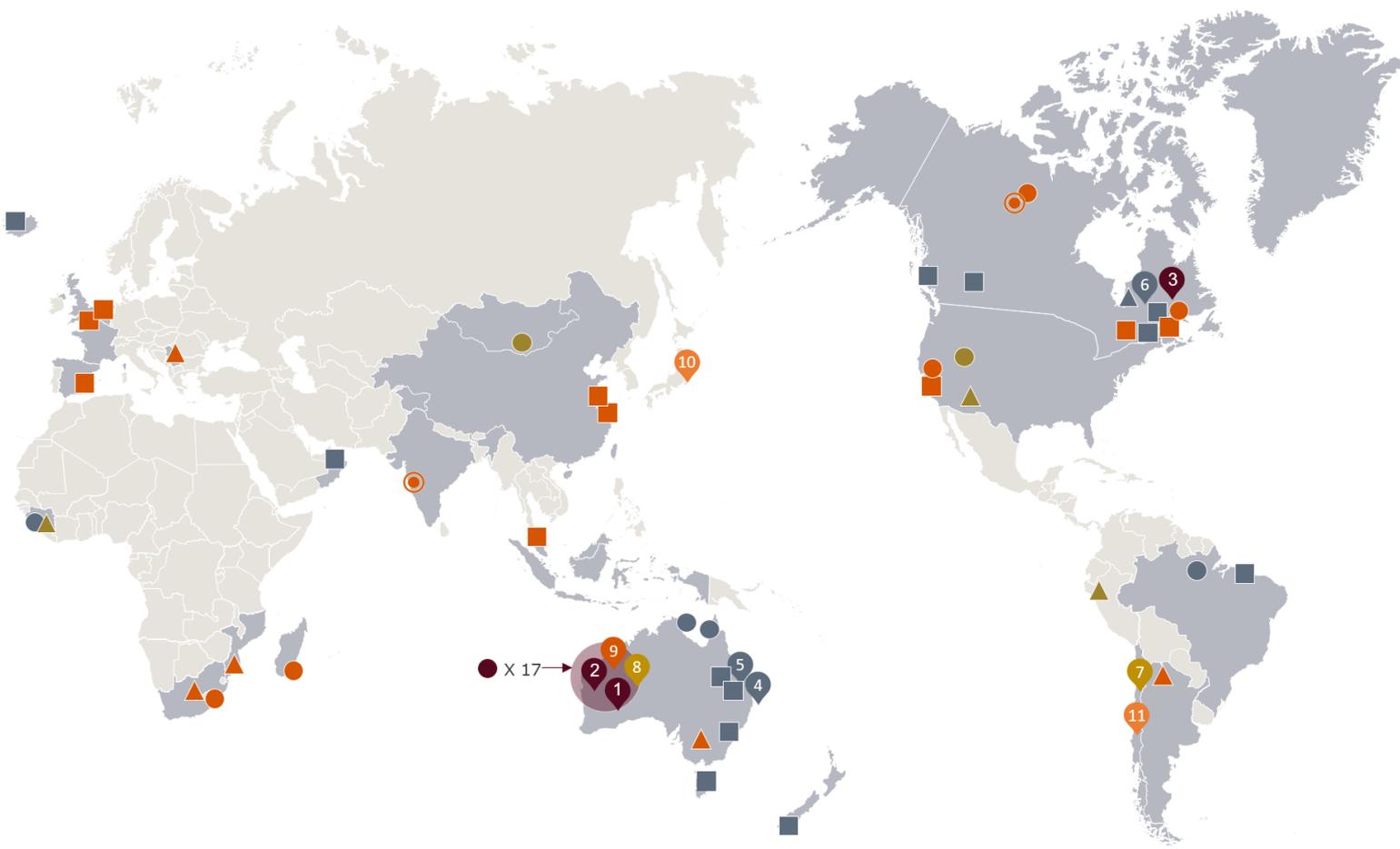


2022年より、北海道大学大学院工学院と九州大学大学院工学府が共同で設立した「**資源系教育コンソーシアム**」に参画しています。このコンソーシアムは、資源系人材育成の教育システムを強化、充実させることを目的とし、民間企業と公的機関の連携により構成されています。当社は唯一の外資系企業メンバーとして、将来の資源業界のリーダーの育成を支援し、同コンソーシアムを通じてさまざまなサポートを学生に提供しています。

2023年より、**一般社団法人日本車いすラグビー連盟**のオフィシャルサポーターを務めています。競技用車いすに求められる軽さや耐久性に欠かせないアルミニウムやチタンの原料はリオティントの重要な製品ポートフォリオの一部です。男女混合で行うこの競技を通じて、すべての人々が分け隔てなく交流できるダイバーシティ社会の実現を支援しています。

Our Operations

- 地図表記
- 鉄鉱石
 - アルミニウム
 - 銅
 - リチウム
 - ミネラルズ
 - 鉱山
 - 製錬所、精製所、電力施設、プロセスプラント
 - ▲ プロジェクト



日本企業とのジョイントベンチャー事業

- | | | | |
|---|--|---|---|
| <p>1 Rove River (鉱山)
三井物産/日本製鉄</p> <p>2 Rhoges Ridge (鉱山)
三井物産</p> <p>3 Iron Ore Company of Canada (鉱山)
三菱商事</p> | <p>4 Boyne Smelters (製錬所)
YKK/住友商事/丸紅/UACJ</p> <p>5 Gladstone Power Station (電力施設)
住友商事/丸紅/三菱商事/YKK</p> <p>6 Aloutte (製錬所)
丸紅</p> | <p>7 Escondida (鉱山)
三菱商事/JX金属/三菱マテリアル</p> <p>8 Winu (鉱山)
住友金属鉱山</p> | <p>9 Dampier Salt (鉱山)
丸紅/双日</p> <p>10 Naraha (プロセスプラント)
豊田通商</p> <p>11 Olaroz (鉱山)
豊田通商</p> |
|---|--|---|---|



製品の用途

B

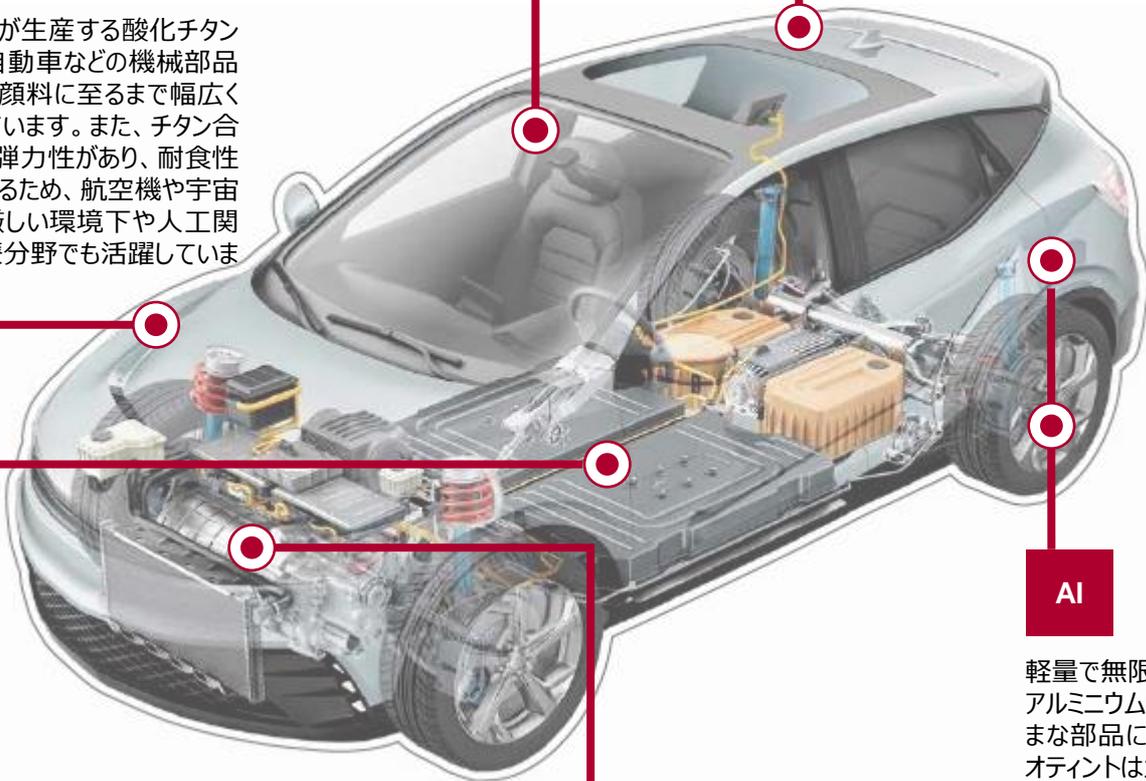
ホウ酸塩はスマートフォンの画面や車のフロントガラス、再生可能エネルギー素材、木材保存材、断熱材、肥料などに使われる多用途な鉱物です。商業的に採掘できる場所は地球上で限られており、その一つがカリフォルニア州のリオティントのホウ酸塩事業、「U.S. Borax」で、世界の精製ホウ酸塩需要の約30%を供給しています。

Fe

鉄鉱石は鋼の主要原料であり、鋼は高い強度・耐久性・コスト効率を兼ね備えているため、自動車、建築、インフラ分野で幅広く活用されています。リオティントは世界有数の鉄鉱石生産企業であり、ビルバラ地域では、17の鉱山、4つの港湾ターミナル、約1,900kmの鉄道網を含む統合インフラを展開しています。

Ti

リオティントが生産する酸化チタン原料は、自動車などの機械部品から塗料、顔料に至るまで幅広く使用されています。また、チタン合金は軽く、弾力性があり、耐食性に優れているため、航空機や宇宙空間など厳しい環境下や人工関節など医療分野でも活躍しています。



Al

軽量で無限にリサイクル可能なアルミニウムは、自動車のさまざまな部品に使われています。リオティントはカナダやニュージーランドではすでに再生可能エネルギーを活用した低炭素アルミニウムの生産を行っています。また、日本企業と協業して操業するオーストラリアのボイン製錬所では、再生可能エネルギーへの移行が進んでいます。

Li

Fe

Cu

Al

リチウムは、低炭素の未来に欠かせない原料です。輸送機器の電動化や大規模なバッテリー、エネルギー貯蔵などの低炭素技術に不可欠な重要鉱物です。また、電気自動車（EV）の電力を蓄える心臓部には、リチウムのほかに高純度の鉄が正極に、銅は電極用のフォイルや接続部に、アルミニウムはフォイルや外装部分に使われています。

Cu

銅は、地球上で最も優れた熱伝導性と電気伝導性を持つ非貴金属です。リオティントは、クリーンエネルギーへの移行において重要な役割を果たす銅の生産に力を入れています。



持続可能な社会への取り組み

リオティントは、国連の「2030アジェンダ」を支持し、持続可能な開発目標（SDGs）にも貢献しています。

2050年までにネット・ゼロを達成することを表明しており、2030年までにスコープ1と2の排出量を2018年比で50%削減することを目標としています。

脱炭素化は私たちと世界にとって優先事項です。

2018年、リオティントは石炭事業を売却して資源メジャーとして唯一の化石燃料を生産しない会社となりました。

私たちは気候変動問題の解決に貢献すべく、さまざまな活動に取り組んでいます。

低炭素社会の実現に向け、長年にわたりパートナーシップを深めてきた日本企業との取り組みを強化しています。

リオティントジャパン株式会社

RTJenquiries@riotinto.com

www.riotintojapan.com/



Rio Tinto

